教員を目指す学生と教育委員との意見交換会（意見概要）

１　日時・場所

令和２年１２月１６日（水）１５：００～１６：３０

千葉ポートサイドタワー１２階　第一・第二会議室（千葉市教育委員会内）

２　出席者

・大学生　　８人

・教育長

・教育委員　５人

３　意見交換テーマ

学生から見た教職の魅力

（１）教員の魅力・教員を目指す理由

（２）教職に関する疑問・不安

４　意見概要

市内大学で教員を目指す学生が「教員の魅力や教員を目指す理由」、「教職に関する疑問や不安」についての考えを示した後、教育長・教育委員からは発言に関する質問、教員を目指す学生へのエールや期待などが述べられ、和やかな雰囲気の中、活発な意見交換が行われた。

■教員の魅力・教員を目指す理由について

・自分ができるようになったことを自分以上に喜んでくれたなど、小・中・高校においてかかわりがあった先生との印象が深く、様々な理由からあこがれの存在となっていることで、自分も教員を目指すようになった。(多数)

・家族が教員。大変そうではあったが、たくさんの人から慕われている姿を見て教員を目指した。

・教職たまごプロジェクトに参加したことで、様々な支援を必要とする子どもたちと関わることができた。できるようになってくれたことが嬉しかったし、成長を近くで見られる喜びを知った。

・子どもたちの成長を近くで見守るとともに、子どもたちと一緒に喜び一緒に悲しむ中で、自分も一緒に成長していけることが校種を問わず教員の魅力である。

・小学校は学びの一番基礎となる大切な段階であると認識しており、そこにかかわっていきたい。様々な教科を教えることで、それぞれの子どもの得意なことなどが分かるようになることが魅力である。

・中学校は、高等学校への進学など、人生における初めての大きな選択の場面であると感じる。子

どもたちの人生の一部にかかわっていけることが魅力である。
・学校であいさつなどの大切さを学んだことが、今の自分に生きている。子どもたちに思いやりや感謝の気持ちの大切さを伝え、自己肯定感を育んでいきたい。

■教職に関する疑問・不安について

・良い授業ができるのか、支援が必要な子などに効果的な支援ができるのかなどが不安である。20人から40人近くの子供たちにしっかりと教えていく責任の重さを感じている。
・授業準備や教材研究が教員の魅力であると感じるが、そこにどれだけの時間をかけられるのかが不安。ある程度年数がたてば経験も生かせると思うが、初めの3年間は特に不安である。
・教育実習や教職たまごプロジェクトで、忙しそうに働き、休み時間に子どもたちと過ごしたいのに過ごせない先生方の姿を見て、多忙であることを実感している。
・先生方の労働時間はどれくらいか。朝早くから夜中まで働いている話などを聞くと、労働時間に対価が見合っているのかとも感じる。熱意と意欲だけでは、いずれ体力、気力が尽きると思う。
・特別支援学校ではチームで子どもたちと関わっていく。迷惑をかけられないという思いから、自分で抱え込んでしまう心配がある。
・先生、生徒、保護者など、様々な方と関わることになる。よい人間関係を築けるか不安である。
・進路指導やSNSで起こるいじめ問題などに適切に対応していけるのかも心配である。
・ワークライフバランスをうまくとっていけるのか。将来的に結婚して子供を産んだ場合、自分の子にさみしい思いをさせてしまうのではないか。

■教育長・教育委員から

・教員に限らず、どんな職にも目指し、憧れる姿がある。そのイメージを大切にしてほしい。
・教員は、人格形成に関われることがとても幸せなことである。関わった子どもたちと、一生のつながりを持つことができる仕事である。
・マイナス面もあると思うが、それをプラス面に変えていこうとしているところがすばらしい。
・教育委員会でも、教員の本来の業務は何か、本質は何かという面に立ち返り、教育環境整備を行っている。具体的には、各校の求めに応じて専門職を配置するなどを行っている。
・若いうちはできないことも多いが、若いからこそできることがある。そこをしっかりとやってほしい。そのことについての責任は、管理職等がしっかりと対応していく。
・千葉市では千葉市教育研究会など、学校や世代を超えて皆で教科の勉強を行う場がある。横の関係、相談できる関係を築いていくことが大切である。
・学生の時に、事務処理能力（ICTの活用、資料作成など）を高めていくことが必要である。就職してから学ぶのではなく、今からでもできることはある。
・出産、子育てについての不安があげられたが、職場にはたくさんの出産・子育てをした先輩、管理職がいる。モデルとなる姿を得たり、相談したりすることで解決できると思う。
・教員が元気でないと、子どもたちは元気になれない。若い皆さんの力を待っている。